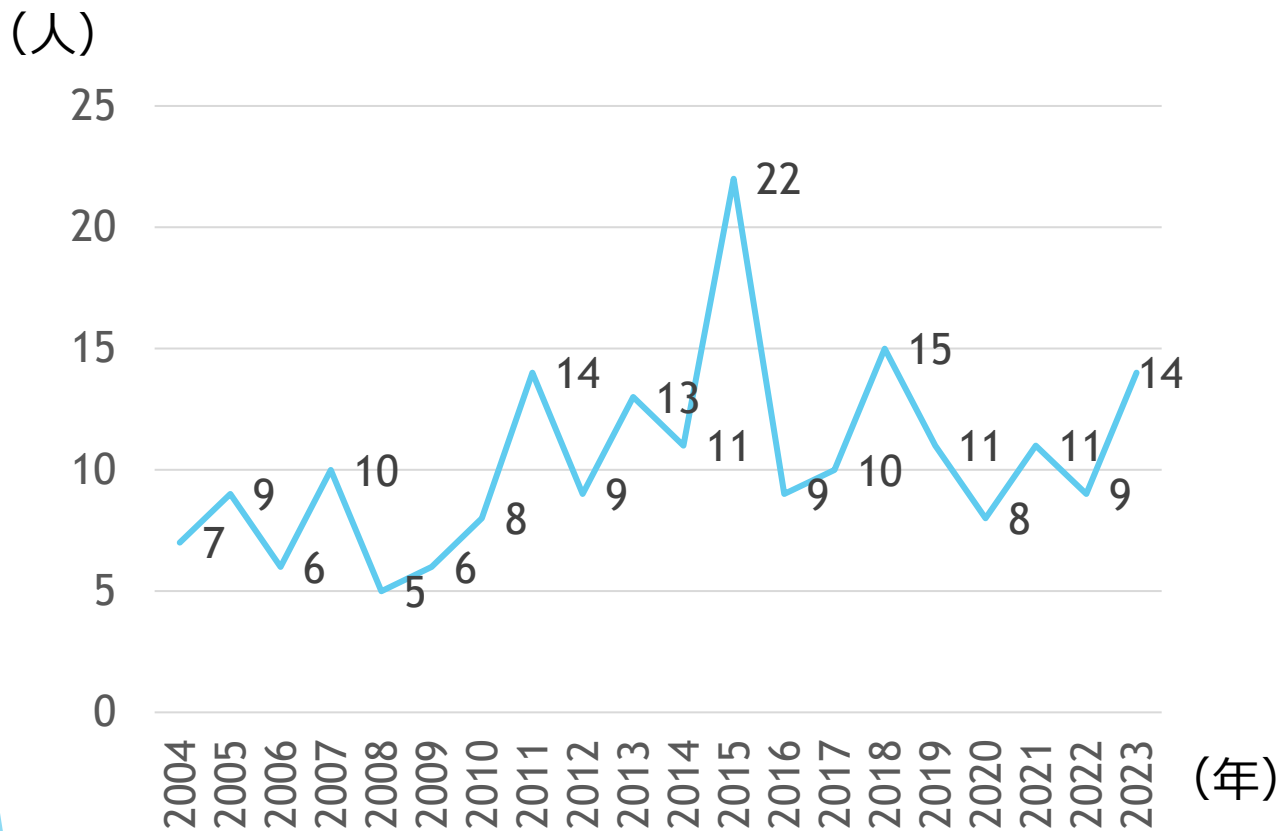


# 卵巣癌の5年生存率

当院産婦人科過去20年の解析

# 卵巣癌新患者数の推移

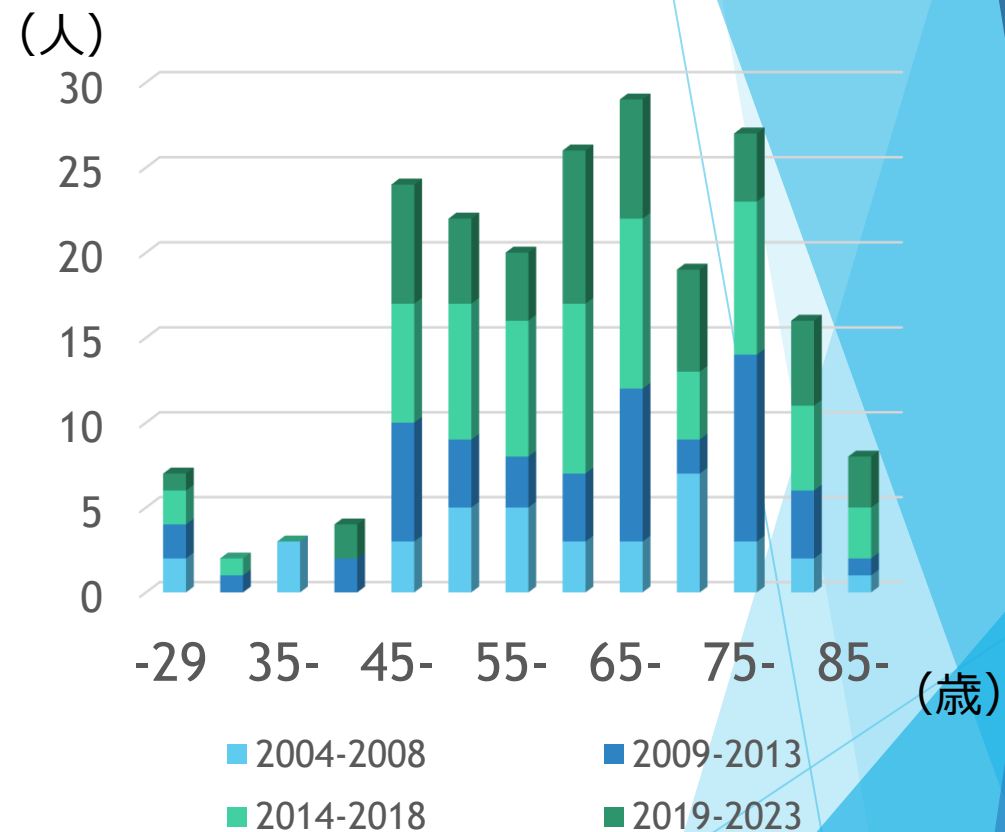
(2004~2023年 n=207例)



- 卵巣癌症例は、1年間に5~22例で推移した

# 年齢別患者数

(2004~2023年 n=207例)



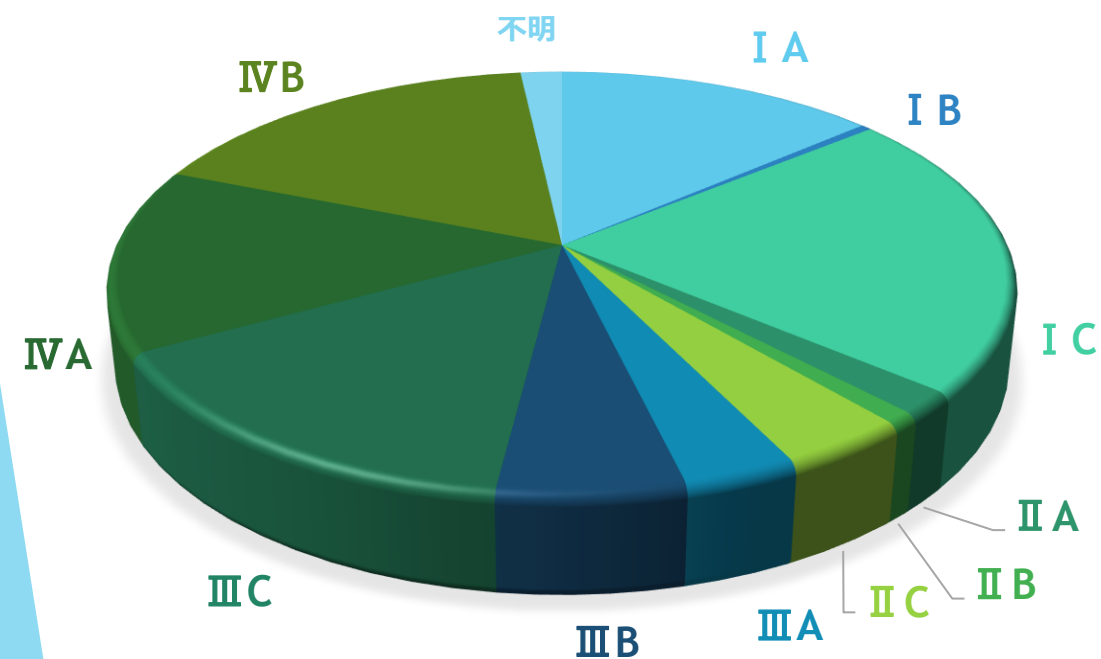
- 卵巣癌症例の平均年齢は62.5歳であった

# ステージ別患者数

(2004~2023年 n=207例)

# ステージ別5年生存率

(2004~2018年 n=142例)



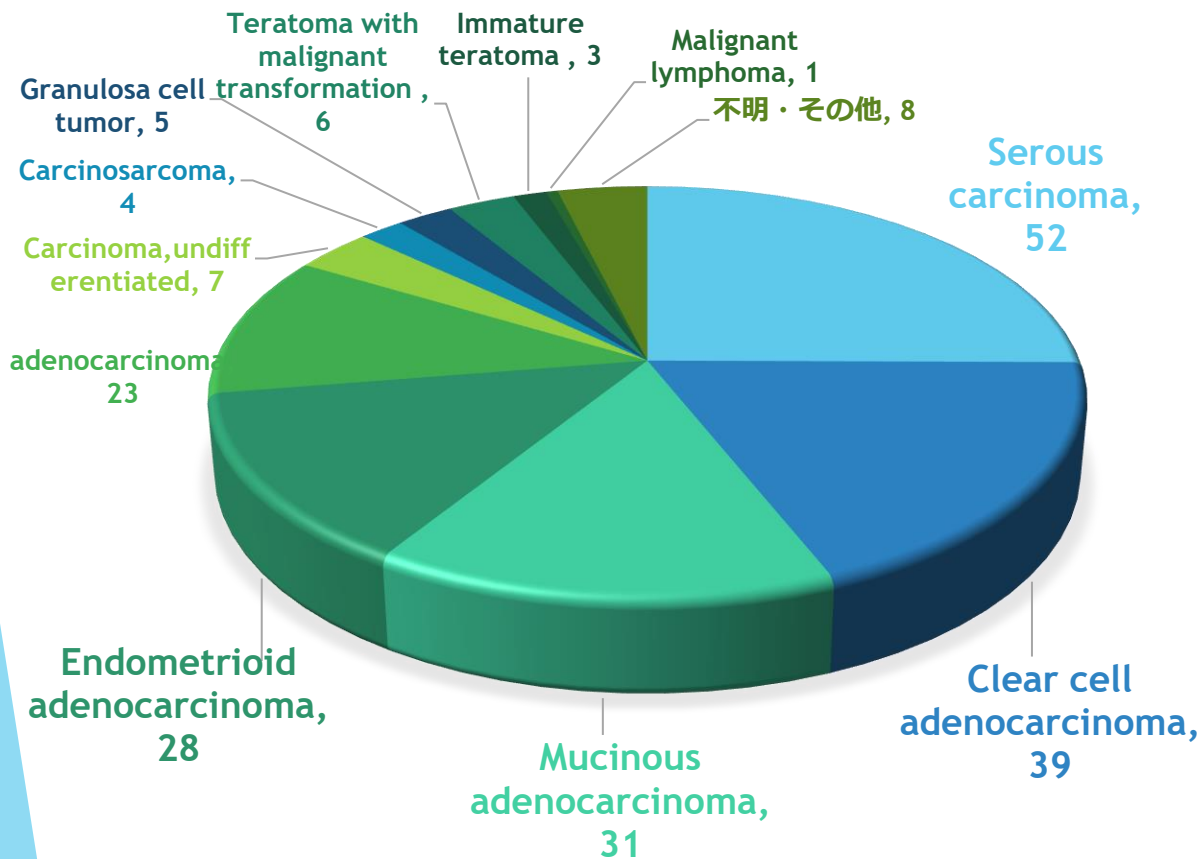
I 期 ; 39.6%    II 期 ; 7.2%、  
III 期 ; 26.6%    IV 期 ; 24.6%

stage	I	II	III	IV
生存数/ 症例数	51/63	5/8	15/39	6/32
5年 生存率 (%)	81.0	62.5	38.5	18.8

転帰不明及びステージ不明をのぞく

# 組織別患者数

(2004~2023年 n=207例)



# 組織別5年生存率

(2004~2018年 n=142例)

転帰不明例  
をのぞく

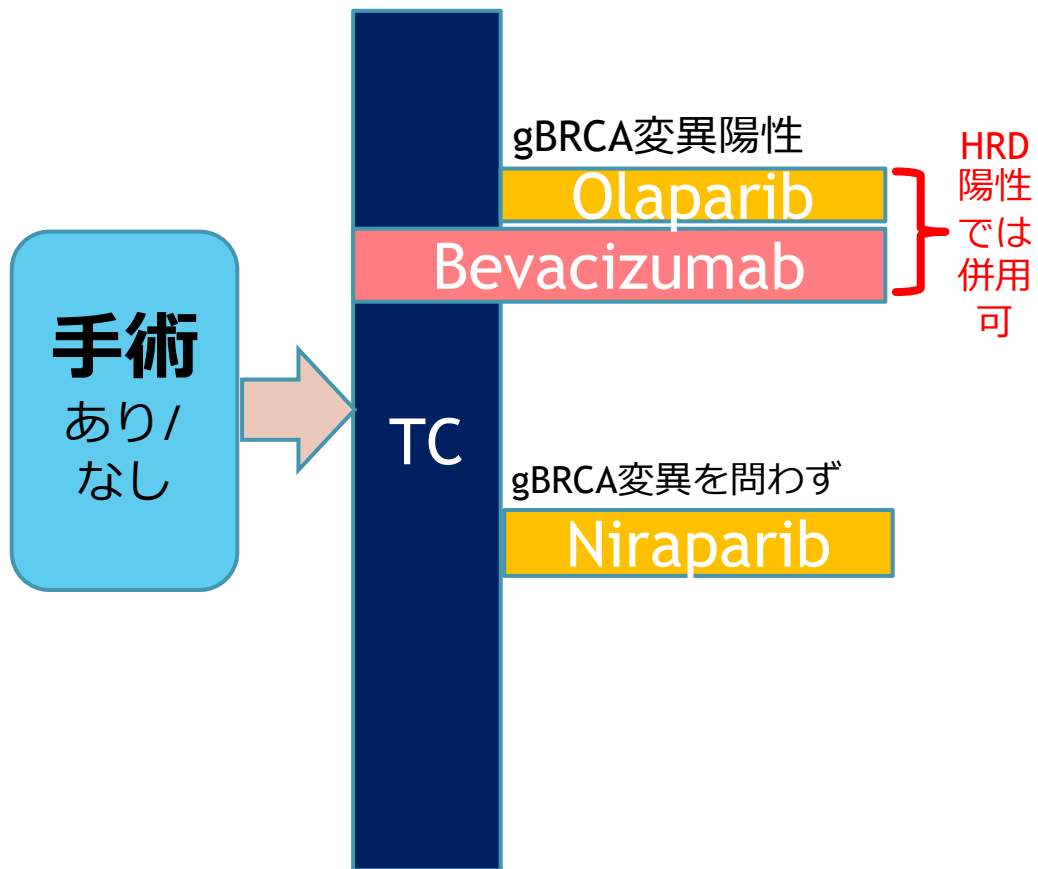
分類	組織型	生存/症例数	5年生存率 (%)
表層上皮性・ 間質性腫瘍	Serous carcinoma	14/32	43.8
	Clear cell adenocarcinoma	12/27	44.4
	Mucinous adenocarcinoma	16/22	72.7
	Endometrioid adenocarcinoma	18/20	90.0
	Carcinosarcoma	0/3	0.0
	Carcinoma, undifferentiated	1/5	20.0
	adenocarcinoma	3/20	15.0
性索間質性腫瘍	Granulosa cell tumor	4/4	100.0
胚細胞性腫瘍	Teratoma with malignant transformation	2/6	33.3
	Immature teratoma	3/3	100.0
その他	Malignant lymphoma	0/1	0.0
	不明・その他	0/2	0.0

腹膜癌;serous carcinoma 2 carcinosarcoma 1  
卵管癌;serous carcinoma1を含む

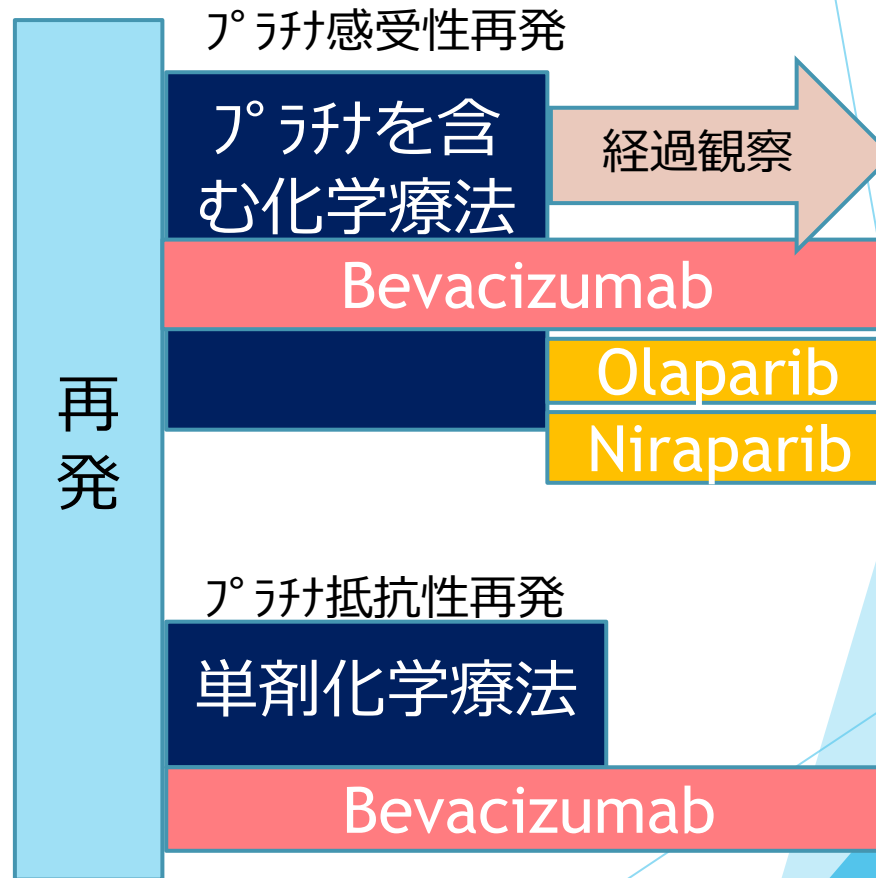


# 進行再発卵巣癌・卵管癌・腹膜癌の薬物療法

## 初回治療



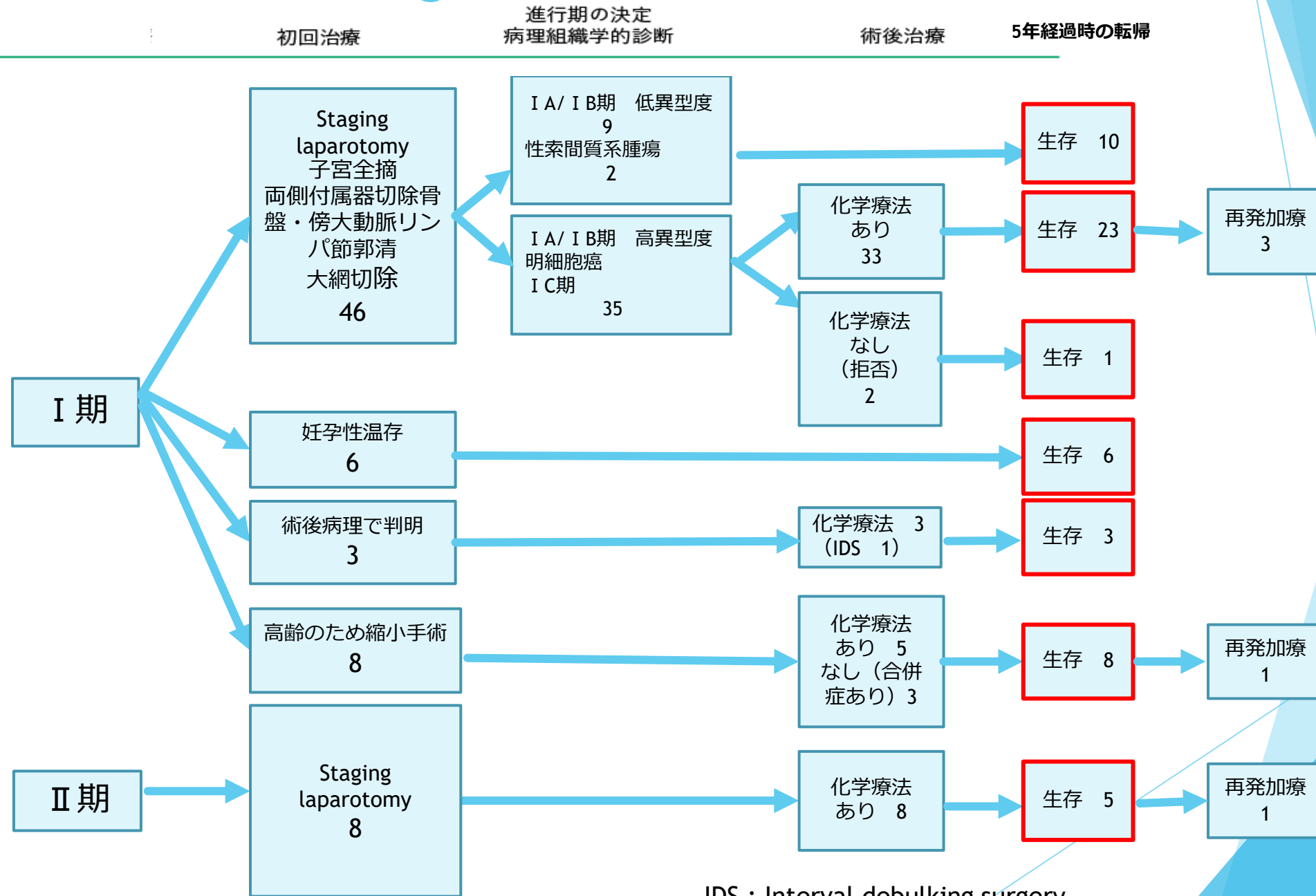
## 再発治療



Bevacizumab;血管新生阻害薬

Olaparib・Niraparib;PARP阻害薬

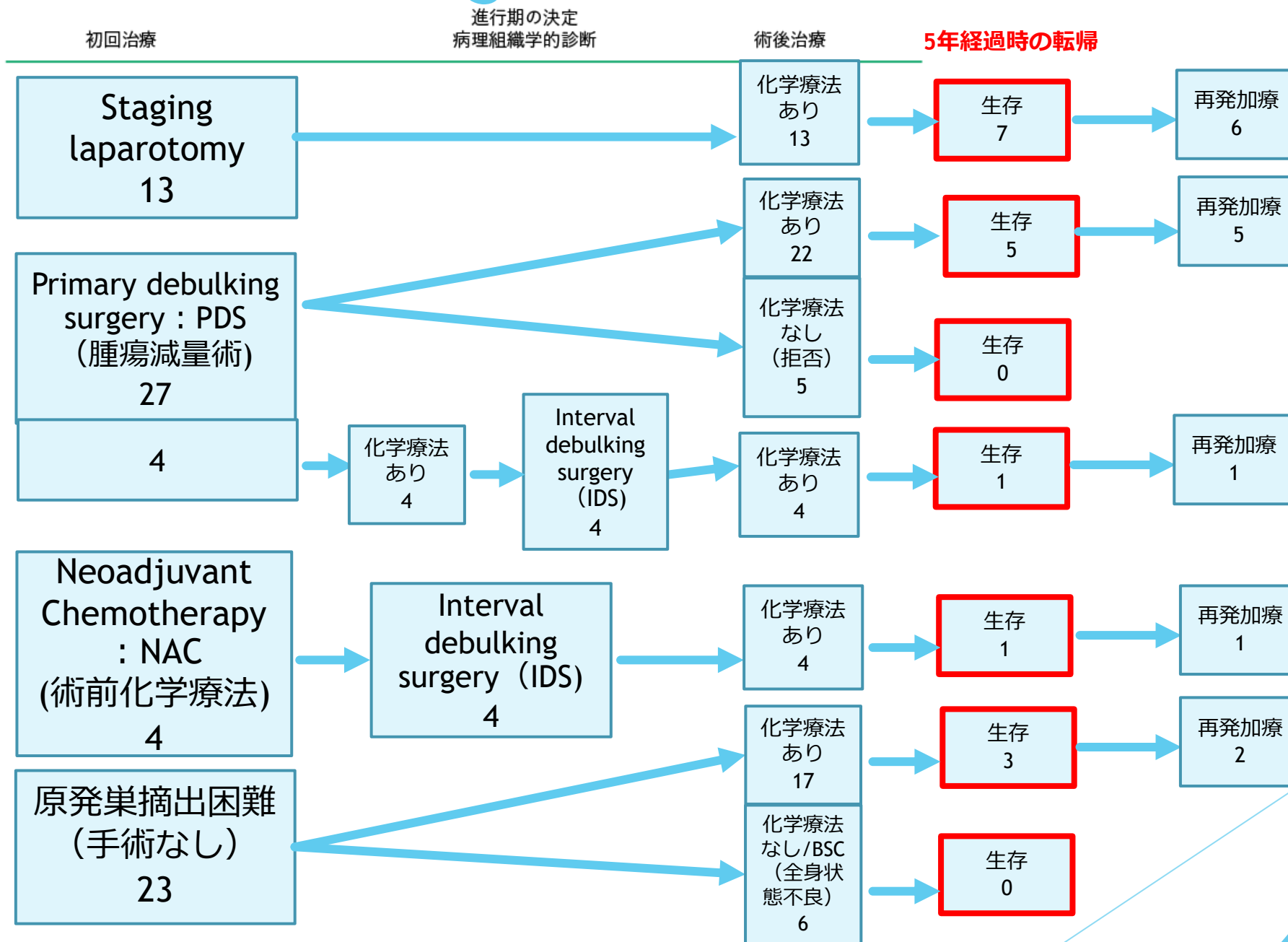
# 治療結果 (stage I・II) n=71例



- stage I・II期ではほぼ全例で進行期決定のための staging laparotomy を施行した。
- 高齢・合併症・拒否等をのぞいて、I A/ I B期、低異型度以外は、全例で化学療法を施行した。
- 術後病理検査で癌と判明した例には、化学療法やIDSを追加した。
- 5年生存例は56例あり、その後の観察で5例が再発し、加療した。

IDS ; Interval debulking surgery

# 治療結果 (stage III・IV) n=71例



- stage III・IV期では staging laparotomy:13件、腫瘍減量術:31件、NAC後腫瘍減量術:4件を施行した。
- 手術後、高齢を理由に拒否された5例を除く、43例に化学療法を施行した。
- 原発巣摘出困難が23例あり、17例に化学療法を施行し、6例はBSCとなった。
- 5年生存例は17例あったが、その後の観察で15例が再発し加療した。



# Ⅲ-Ⅳ期5年生存者の内訳

No.	組織型	stage	初期治療 OP;手術 CT;化学療法	再発までの 期間 (PFS)	再発～死 亡までの 期間	再発後 化学療 法コース数	維持療法		現在の治療
							Bev	PARP	
1	clear cell	3a	OP+CT	10年2か月	7か月	1			
2	clear cell	3a	OP+CT	5年6か月	生存中	4		オシパ®リグ	8年目;CT中
3	endometrioid	3b	OP+CT	3年1か月	不明	不明			5年目他院紹介
4	serous	3b	OP+CT	6年10か月	生存中	1		ニオパ®リグ	7年目;ニオパ®リグ 3か月継続中
5	serous	3c	OP+CT	1年2か月	5年5か月	6			
6	endometrioid(G2)	3c	OP+CT	なし	生存中				12年目再発なし
7	high-grade serous	4b	OP+CT	1年10か月	4年0か月	4	○	オシパ®リグ	
8	serous	3c	OP+CT+OP(IDS)+CT	1年5か月	5年10か月	5			
9	serous	3c	OP+CT	4年1か月	1年3か月	1			
10	endometrioid(G3)	3c	OP+CT	2年3か月	生存中	1			10年目なし
11	high-grade serous	3c	OP+CT	5年2か月	生存中	-	○		5年目 治療開始予定
12	serous	4	OP+CT	1年2か月	3年11か月	2			
13	serous	4	OP+CT	4年2か月	10年0か月	8			
14	serous	3b	CT(NAC)+OP(IDS)+CT	3年3か月	5年9か月	6			
15	adeno (腹水から)	3c	CT	2年1か月	生存中	2		オシパ®リグ	9年目; オシパ®リグ 5年継続中
16	adeno (腹水から)	4b	CT	なし	生存中				7年目再発なし
17	serous	4b	CT	2年9か月	2年4か月	3	○	オシパ®リグ	

IDS ; Interval debulking surgery

- 10年をこえた生存例を3例認め、うち2例は、現在治療なく寛解中である。
- 維持療法としてPARP阻害薬投与例は5例あり、2例は現在も投与継続中である。